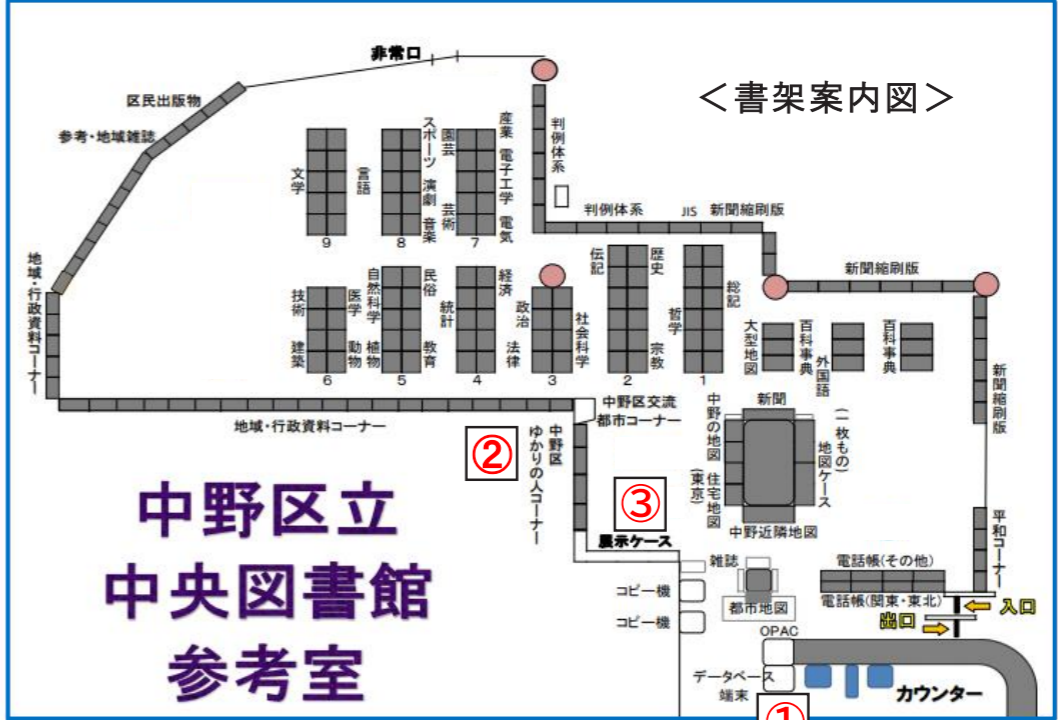


Vol.37 から、中野区にある各図書館についてご紹介してきました。引き続き、各図書館が記事の作成を担当します。いつも行く図書館だけでなく、他の図書館にも足を伸ばしていただくきっかけとなれば幸いです。

今号からのテーマ
“行ったことがありますか？ 図書館スタッフのおすすめ情報”



メインカウンターを通り過ぎて、左側に見えるバーの向こう側に行ったことがありますか？ 最初は少し緊張するかもしれませんが、どうぞご自由にお入りください。ここは参考室・地域行政資料コーナー（参考室）です。調べ物から日常のちょっとした疑問まで、わからないことがあればお聞きください。答えを探すお手伝いをいたします。もちろん、区内どの図書館のカウンターでも質問は受付けていますが、専用のカウンターで相談できるのは、中央図書館だけです。



レファレンス

図書館で調べ物の相談をすることを、レファレンスといいます。調べている事柄の事実関係がわかる資料の提示や、文献探しのお手伝いなど課題解決を支援します。

「小学生にクイズを出すのに参考となる本は？」「世界的に水不足が進んでいるのか知りたい」など、日常の疑問から本格的な調査まで、どんな事柄でもお尋ねください。ただし問題集の答え、法律・人生・医療に関する質問など、一部回答できないこともありますのでご理解ください。たとえば、数学の問題を解くことが載った参考書を探すことはできません。

お力になれる範囲でお答えいたしますので、お気軽にスタッフまでお声かけください。

続いては、参考室のスタッフに聞いたイチオシ情報を紹介するわよ！



■参考室の資料 その1～参考資料～

- ◇参考調査用の資料
事典・図鑑・年鑑・便覧・新聞縮刷版など
- ◇各種オンラインデータベース
新聞・官報・法律情報・雑誌や論文・国立国会図書館デジタルコレクションなど

◆オンラインデータベース（右図①）
 本で調べるだけでなく、中野区立図書館の利用登録をしている方は、インターネット端末も利用することが出来ます。図書館では、有料データベースも無料でご利用いただけますので、ぜひご活用ください。詳細は参考室のスタッフまで。

「名探偵はぴりすと夏の魔物」(2017年実施) データベースをより知ってもらおうと開催した小学生向けのイベントです。自分の興味やレベルに合わせたクイズを、聞蔵II(※)を使って解いていきます。初めて見る昔の新聞に驚く姿もありました。調べる楽しさ、おもしろさを感じるイベントになりました。

※朝日新聞社の、新聞紙面や雑誌から過去の出来事を調べることができるデータベース

■参考室の資料 その2～地域資料～

- ◇中野区や東京都などの地域・行政資料
- ◇中野区ゆかりの人の著作物
- ◇中野区民の出版物

◆中野区ゆかりの著者紹介展示（右図②）
 中央図書館では、2004年から中野区にゆかりのある人物を紹介する展示を行い、その展示内容を冊子にまとめて発行しています。この冊子は、区内全館で所蔵しており、電子版でも公開しています。

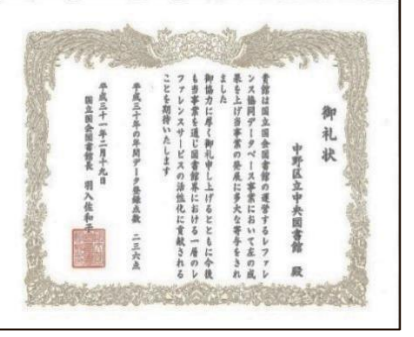
電子版の冊子はこちら
<https://library.city.tokyo-nakano.lg.jp/issue/yukari.html>

11月末頃からは、一般開架 大型図書コーナーでもゆかり展示があるっぴ！

◆レファレンス協同データベース（通称・レファ協）
 レファ協は、国立国会図書館等と協同で構築している調べ物専門のデータベースです。各図書館によせられた質問の回答事例や、調べ方マニュアルなどを蓄積することで、図書館関係者や一般利用者の調査研究支援を行っています。

このデータベースを充実させるのに重要なのは、各図書館による事例提供です。中野区立図書館では、東京特別区の中で最もレファ協に事例提供しており、2014年より毎年、登録件数の基準を達成しています。その結果、6年連続でレファ協から御礼状を贈呈されています。

また、レファ協のイメージキャラクター「れはっち」が遊びにきてくれたこともあります。れはっちにも、中央図書館の熱意を感じていただきました。



レファ協 HP はこちら
<https://crd.ndl.go.jp/reference/>



◆中野区立図書館70周年記念すころく（右図③）
 1948（昭和23）年12月1日にスタートした中野区立図書館。当時は3000冊ほどの蔵書数で、入場料や貸出保証金が必要な時期もありました。そこから今では98万冊を超えた資料を無料で利用できるようになっていきました。

そんな中野区立図書館の歴史をたどるすころくを、70周年にあたる2018（平成30）年に作成しました。ゆかりコーナーにて展示しているので、ぜひご覧ください。

バーの向こうにも魅力がいっぱい！
 利用しないのももったいない！
 中央図書館を利用するときは、ぜひ参考室もぞいてみてね！



※ 本誌の掲載内容・お知らせ情報は記事作成当時のものです。